

科目名	看護情報システム論		科目ナンバリング	N-FN 1-17. S N	単位数	2単位	対象 学年	4年	開講 学期	後期
			科目コード	N20020	時 間	30時間				
区分	看護基礎科目	選択	担当者名					授業 形態	講義	単独
	アクティブラーニング									
授業の 概要等	〔授業の主旨〕 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕									
到達 目標										
授 業 計 画										
回	主 題			授 業 内 容					備 考	
第1回										
第2回										
第3回										
第4回										
第5回										
第6回										
第7回										
第8回										
第9回										
第10回										
第11回										
第12回										
第13回										
第14回										
第15回										
評価 方法 及び 評価 基準										
課題等										
事前事 後学修										
教材 教科書 参考書										
留意点										

科目名	看護関係法規		科目ナンバリング	N-FN HS 1-18. H N	単位数 時間	1単位	対象 学年	4年	開講 学期	後期
			科目コード	N20026		15時間				
区分	看護基礎科目	必修	担当者名	高田 まり子 (実務経験のある教員)				授業 形態	講義	単独
	アクティブラーニング	有								
授業の概要	<p>〔授業の主旨〕 看護職はその職務上、多くの法規に関係しており、看護サービスの提供においては、基盤となる法規および関係法規を理解することが不可欠である。看護職として、法律を遵守し職務を遂行するために必要な法規あるいは法令と言われるものに関する基礎的知識を学習する。 〔ディプロマポリシー及びカリキュラムポリシーとの関連する事項〕 ディプロマポリシーの2, 3, 4, 5に関連している。カリキュラムポリシーの2-1, 3-1, 3-2, 4-1, 5-1に関連している。</p>									
到達目標	<p>1. 看護職の基本法規を理解する。 2. 看護職として働くため関係する法規を学習する。 3. 学習した法規をもとに、看護職としての職務を遂行するための根拠や判断基準を理解する。</p>									
回	主 題		授業内容（授業時間外の学修を含む）							備考
第1回	法の概念と厚生行政の仕組み		保健師助産師看護師法1（看護職の定義、名称独占、業務独占、看護職の業務範囲、看護職の義務）を理解する							講義
第2回	医療法の概要		目的、医療提供の理念、医療施設の種類、医療施設の開設・管理、医療計画、医療法人などについて理解する							講義
第3回	医療関係職種と法		医師法等医療関係職種に関する法律を理解する							講義
第4回	看護事故の法的責任		看護師が関連した医療事故を1例取り上げ「看護事故の法的責任とは」「民事上の責任」「刑事上の責任」「行政上の責任」を分析							個人演習
第5回	看護事故の法的責任		看護師が関連した医療事故を1例取り上げ「看護事故の法的責任とは」「民事上の責任」「刑事上の責任」「行政上の責任」を分析							個人演習
第6回	薬事法と看護		薬事法・麻薬および抗精神薬取締法等を理解する							講義
第7回	看護と患者（住民）情報の取り扱い		個人情報保護法における個人情報の扱いについて理解する							講義
第8回	労働法と看護		労働者としての権利を保障する関係法規を理解する							講義
評価方法及び評価基準	<p>1) 2/3以上の出席者につき、出席状況、振り返りシート、定期試験等を組み合わせて総合的に評価する。 2) 定期試験(60%) レポート(30%) 学習姿勢等(10%)</p>									
教材教科書参考書	<p>教科書：森山幹夫、看護関係法令：健康支援と社会報奨制度、医学書院、2023 授業の中で、随時、参考図書を紹介する。</p>									
留意点	<p>1) 授業で紹介された文献などの自己学習による積み重ねが重要である。 2) 授業で学んだことを、日頃の学習及び社会活動に活かす。</p>									